

令和5年度学校評価自己評価シート(最終)

三次市立河内小学校

【経営理念】 ミッション（使命）：コミュニティ・スクールを核に、郷土愛・地域参画・地域貢献を意識した「資質・能力」の育成を図り“魅力ある学校づくり”を実現させ、 地域（保護者）の期待に応える。学校教育目標：気づき 考え 実行する 主体的な子供の育成 ～ つながる・挑む・考動する ～										達成度		達成値 ____×100 目標値		評価		A≧100 100>B≧80		80>C≧60 60>D	
	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標 （目標値）	10月	達成度	評価委員評価			コメント	2月	達成度	評価委員評価			コメント				
				達成値		A	B	C		達成値		A	B	C					
確かな学力の育成	基礎学力の向上	・ICTの活用、個別学習の取組、各種調査の分析をもとに、単元テスト、公的学力検査における正答率向上を図る。 ・各学級の学習課題に応じた課題に取り組ませ活用問題の正答率向上を図る。	・単元テスト平均値 80%以上達成の児童 80%以上 ・公的学力検査における活用力全科目全国平均以上	83.25 1月実施	B 未	○			・先生方がそれぞれの子どもの学力に合わせて指導や支援を行っていると思う。 ・タブレットの活用について、効果が上がる使い方を工夫できるよう方策を考えた方がよいと思う。	79.75 68.7	C	○			・それぞれの子どもの学力に合わせて指導や支援ができるという有利さが良い。 ・もっと学習の中に地域の人が入り支援できたらいいと思う。				
	育成すべき資質・能力の向上	・生活科・総合的な学習の時間を核として、思考力・表現力の育成に重点を置き、深い学びを引き出す授業づくりに取り組む。 ・表現力を高めるために、説明する機会を意識した学習を行い、発信力を身に付ける。	・「資質・能力」児童意識調査、外部アンケートによる肯定的評価 80%以上 ・学習したことを発表する場を各学年2回以上設定（参観日、発表朝会、ICTの活用等）	117.5 2学期以降実施	A 未	○			・学習の中で、課題の解決の仕方をそれぞれが自分の言葉で説明できているし、聞く方はそれぞれの考え方を否定せずに聞いて受け止めている雰囲気素晴らしいと思う。授業が楽しそう。 ・行事の後の振り返りでは、全員の児童が感想を言っている。高学年の姿を見て下の学年も発言することが当たり前のように思っている。	100以上 66	A C	○			・地域に出て、地域の方々との学習を通して育つ資質能力もあるので、今後も継続していつてほしい。 ・学習をして感じたことや考えたことを自分の言葉でまとめたり表現したりする学習はとても大切だと思うので、続けていつてほしい。				
豊かな心の育成	自己効力感の向上	・キャリア教育の視点をもった取組を通して、人とつながり、社会参画を通して自己肯定感の向上を図る。 ・作品応募、各種大会参加を積極的に行い、挑戦することで自己効力感を身に付ける。	・児童アンケートの「自己効力感」「自己肯定感」に関する項目において、肯定的な回答をした児童の割合 80%以上	113.38	A	○			・学校での学習、地域での体験学習、放課後の子ども教室での学習がうまくつながって回るようにすると、もっと効果が上がると思う。 ・新聞などに自分の作品が掲載されると、学校や地域の人から声をかけてもらえ、それが自信や自己効力感の向上につながっている。	108.75	A	○			・地域の方々が子どもの顔や名前をよく知っている。子ども達の活動についてもよく分かるので、これからも声掛けをしたり励ましたりすることで、子ども達の自己肯定感の向上に努めたい。 ・いろいろなコンクールや大会に挑戦して自信をつけていつてほしい。				
	自己指導能力の育成	・児童会活動を活性化し、学校生活における課題発見・解決力を身に付ける。 ・「なりたい自分」を設定することで、目標を意識して生活し、成長を実感できるようにする。	・児童アンケートの「自己指導能力」に関する項目において、肯定的な回答をした児童の割合 80%以上	118	A	○			・「なりたい自分」を設定することは、子ども達にやる気をもたせることにつながるのよいと思う。 ・児童会活動では、上級生がやさしく下級生に接しリードしている姿をよく見る。先生に頼るのではなく自分たちで考動できるよき伝統がある。	111.0	A	○			・児童会が中心となって様々な自治的な取組をしていく中で、自己指導能力も育ってくるのだと思う。河内の子どもたちは責任感も強く一生懸命に取り組んでいるので、確実に力もついてくるのだと思う。				
健やかな体の育成	基本的生活習慣の充実	・中学校と連携し、テレビ・ゲーム等の視聴時間減少を目指す。 ・栄養教諭と連携した食育指導を行い食の大切さへの理解を図る。	・3点固定が定着した児童の割合 80%以上 ・メディアコントロール実施による達成率 80%以上	84.6 77.0	B C	○			・メディアを否定するのではなく、メディアと上手に付き合っていくことができるような力を育てて欲しい。	72.0 67.0	C C	○			・メディアコントロールなどの取組の目標設定について、子ども達を取り巻く今の社会の実態に合った目標設定がいいと思う。ノーメディアだけがコントロールではないと思う。 ・そのためには親子でのメディアコントロールについて学習会を開催したらいいと思う。				
	体力・運動能力の向上	・体育科授業の工夫と、業間体育の継続により運動能力向上を図る。 ・新体力テストにおいて課題のある2項目をターゲットとした重点的な取組を通して、体力の向上を図る。	・体力・運動能力調査において、県平均を上回った児童の割合 80%以上	118	A	○			・陸上競技大会に向けて練習を頑張っている姿は立派だ。結果も出している。そんな上級生の姿にあこがれて、下学年の子ども達も陸上競技に興味を持っている。 ・外遊びも積極的にしているので、日ごろから体をよく動かしていると思う。	118.0 111.0	A	○			・河内小の子ども達はよく体を動かして遊んでいるように感じる。陸上競技大会へも3年生場が全員出場しているのは素晴らしい。頑張っている上級生の姿を見て、あこがれの気持ちをもつのもいいと思う。				
信頼される学校	学校の説明責任の遂行と情報の開示	・マスメディアの活用や学校便り・小中一貫だより、コミュニティ・スクール広報誌等の定期発行、アンケートによる学校満足度の向上を図る。	・学校評価アンケートの情報公開における肯定的評価 90%以上 ・HPや通信等でC.Sに係る取組を毎月発信	111 155.5	A A	○			・学校と地域の関係ができているので、学校がどんなことに取り組んでいるのか、何をやっているのか地域の人はよく知っている。 ・さらに地域に開かれた学校を目指して、もっともっと情報発信をして欲しい。	111.0 220	A	○			・コミュニティ・スクールの取組がスタートして2年になるが、みよし学園地区のつながりが深まったと感じる。				
	地域から学校への満足度・信頼度の向上	・「みよし学園コミュニティ・スクール」を核に、地域とビジョンを共有し「育みたい資質・能力」の育成を図る。	・学校への保護者、地域アンケートの肯定的評価 90%以上 ・保護者、地域関係者の学校支援活動参加数	108.1	A	○			・河内地区は年間の行事の体制ができているので取り組みやすい。また、地域と学校関係者の関係ができているので取組がスムーズである。 ・コミュニティ・スクールがスタートして、小中連携が増えていると感じる。三次中学校や三次小学校の児童生徒とともに活動することでよい刺激になっていると思う。	107.8 160	A	○			・これまでの学校と地域との取組について振り返った時に、まだまだつながりを強くもつことができるような活動ができるのではと思う。 ・地域と学校がタックを組んでもっともっと共にできる取組を考えていきましょう。 ・年度の始めには、年間計画についての熟議もしていきましょう。				

※学校評価者指標 （一つに○） A：たいへんよい B：概ねよい C：改善の必要がある